

●実務経験のある教員等による授業科目

音楽アーティスト科

ベースコース

	科目	1年	2年	必修の別	授業形式	実務経験の有無の別	実務経験授業の 時数
全科 共通 科目	SHOW!音楽エンタテイメントゼミ	45	45	必修	講義	○	90
	デビュー・就職実務Ⅰ	72		必修	講義		-
	デビュー・就職実務Ⅱ		55	必修	講義		-
	著作権		25	必修	講義		-
	PC実習	54		必修	講義		-
	選択授業	34	34	必修	講義		-
	異文化研究	20	20	必修	講義		-
	イベント制作実習A	151	153	必修	実習	○	304
	イベント制作実習B	298	300	必修	実習	○	598
専門 科目	DTM	38	38	必修	実習	○	76
	ベース実践Ⅰ	38		必修	実習	○	38
	ベーストレーニングⅠ	38		必修	実習	○	38
	ベース専攻実技Ⅰ	38		必修	実習	○	38
	ベース実技Ⅰ	34		必修	実習	○	34
	アンサンブルトレーニングⅠ	34		必修	実習	○	34
	アンサンブル実習	30	30	必修	実習	○	60
	ベース実践Ⅱ		38	必修	実習	○	38
	ベーストレーニングⅡ		38	必修	実習	○	38
	ベース専攻実技Ⅱ		38	必修	実習	○	38
	ベース実技Ⅱ		34	必修	実習	○	34
	アンサンブルトレーニングⅡ		34	必修	実習	○	34
							-
							-
						-	
						-	
						-	
						-	
合計	総授業時間数	924					
合計	総授業時間数		882				合計
卒業時最少時間		1806					1492

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	SHOW!音楽エンタテインメントゼミ		実務授業の有無	○
担当講師	永島麻耶(コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	45 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>日々変化していく音楽・エンタテインメント分野に対し、実際に音楽・エンタテインメント業界企業で仕事をされている方々を毎回特別講師として呼び出し、オムニバス形式で講義を行う。 講義後は各専攻の学科に対してワークショップなどを行う。 到達目標は、音楽・エンタテインメントに対して、学生が現在の個人的な趣味嗜好を超えた興味関心を持ち、多角的に音楽・エンタテインメントを理解することが出来るようになることである。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション／特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
2	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
3	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
4	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
5	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
6	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
7	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
8	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
9	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
10	後期開始前イントロダクション／特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
11	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
12	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
13	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
14	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
15	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
16	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
17	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
18	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出
19	特別講師による講義・ワークショップ・レポート提出

教科書等	なし 授業形態／遠隔授業のみ実施
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各回によって経歴が異なるが、各回ごとに音楽・エンタテインメント企業の講師である。 (2022年度例) エイベックス・マネジメント株式会社、コンサートプロモーターズ協会、株式会社コレオグラフィ、合同会社UNITY 等

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	デビュー・就職実務 I		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	72 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>通年授業展開、且つ社会人常識マナー検定対策、就職対策も含む 基本PPを使用しての授業展開、漢字の読み・カタカナ用語・都道府県等については宿題を課し、メール作成や社外文書の書き方、郵便の出し方などは実際に早福に送らせ、添削指導を行う。また、検定には出ないが消費税の計算や円高円安における海外旅行の影響(ここは後期)についても時間を割いて実施し、社会人常識を身に付ける。 検定は9月に実施し、合格率90.0%を目指す。後期対策授業は25コマを予定</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機付け、社会人としてのルールの基本指導、新潟県について
2	第1編3章 特別講師による講義・レポート提出
3	第1編1章、メールについて① 特別講師による講義・レポート提出
4	第1編3章、メール発信のフィードバック① 特別講師による講義・レポート提出
5	第1編3章、消費税について 特別講師による講義・レポート提出
6	第1編3章、名刺交換について 特別講師による講義・レポート提出
7	第2編3章、メールについて② 特別講師による講義・レポート提出
8	第2編3章、メール発信のフィードバック② 特別講師による講義・レポート提出
9	第2編3章、送付状の書き方・封筒の宛名書きについて① 特別講師による講義・レポート提出
10	第2編3章、送付状の書き方・封筒の宛名下記について② 特別講師による講義・レポート提出
11	第2編2章 特別講師による講義・レポート提出
12	第2編2章 特別講師による講義・レポート提出
13	第3編4章 特別講師による講義・レポート提出
14	社会人常識マナー検定対策、模擬試験・指導
15	手紙の出し方の復習・郵送、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
16	郵送物のフィードバック、志望動機の書き方(将来の夢)について 特別講師による講義・レポート提出
17	志望動機のフィードバック 特別講師による講義・レポート提出
18	自己PRの書き方 特別講師による講義・レポート提出
19	履歴書の書き方① 特別講師による講義・レポート提出
20	履歴書の書き方② 特別講師による講義・レポート提出
21	履歴書の書き方③ 特別講師による講義・レポート提出
22	履歴書送付について、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
23	送付履歴書のフィードバック、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
24	模擬面接指導、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出
25	特別講師による講義・レポート提出
26	進路面談・指導
27	労働条件セミナー、生活設計、模擬面接・指導、身だしなみ講座 特別講師による講義・レポート提出

教科書等	<p>社会人常識マナー検定テキスト2・3級 自作プリント 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施</p>
成績評価	<p>課題レポート提出30%、各期末課題(試験)提出25%、検定結果25%、出席率10%、授業態度10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	デビュー・就職実務Ⅱ		実務授業の有無	×
担当講師	永島 麻耶 (コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期
対象学年	2	年	必修・選択	必修
対象学科	全学科		総授業時間	55 時間
			対象コース	全コース

授業概要	就職又はデビューに向けた実務授業。 目標を設定させ、履歴書の書き方、プロフィールの書き方、ビジネスマナー、リスクマネジメント、企業コンプライアンスなどについて学習する。デビュー・就職の実現に向け随時個別ヒアリングとフォローを実施。 また、学生主体の自イベントの企画制作も行うプロ活動につなげて行く。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	アーティスト志望：【目標設定と計画、自覚】2年次初動での目標設定の改め、見直し～計画。 「目標設定シート」の作成。春休み中の活動報告提出。 就職志望：1【目標設定と計画、自覚】2年次初動での目標設定の改め、見直し～計画。 「目標設定シート」の作成。春休み中の活動報告提出。
2	アーティスト志望：「目標設定シート」フィードバック。企業研究。目標について個別ヒアリング面談 就職志望：「目標設定シート」フィードバック。企業研究。目標について個別ヒアリング面談
3	アーティスト志望：現状プロフィールシートの更新。確認と再作成 就職志望：履歴書作成(基本的な作成/志望動機/自己PRなど)
4	アーティスト志望：プロフィールシートの提出 就職志望：履歴書作成(基本的な作成/志望動機/自己PRなど)と提出
5	アーティスト志望：プロフィールシートの添削フィードバック 就職志望：履歴書・必要書類の添削フィードバック
6	アーティスト志望：①【活動報告書】の作成と提出 就職志望：①【活動報告書】の作成と提出
7	アーティスト志望：①【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談 就職志望：①【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談
8	アーティスト志望：オーディション対策(自己PRの練習) 就職志望：面接対策(自己PR、志望動機の練習)
9	アーティスト志望：個別面談・フィードバック 就職志望：個別面談・フィードバック
10	アーティスト志望：【目標設定の見直し】目標設定の振り返り～再設定など 就職志望：【目標設定の見直し】目標設定の振り返り～再設定など
11	アーティスト志望：目標について個別ヒアリング面談(未決定者フォロー) 就職志望：目標について個別ヒアリング面談(未決定者フォロー)
12	アーティスト志望：②【活動報告書】の作成と提出 就職志望：②【活動報告書】の作成と提出
13	アーティスト志望：②【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談 就職志望：②【活動報告書】を踏まえ個別ヒアリング面談
14	アーティスト志望：現状プロフィールシートの更新。確認と再作成 就職志望：②面接対策(自己PR、志望動機の練習)
15	アーティスト志望：プロフィールシートの提出 就職志望：未内定者個別面談・フィードバック/ビジネスマナー(内定者)
16	アーティスト志望：プロフィールシートの添削フィードバック 就職志望：未内定者個別面談・フィードバック/ビジネスマナー(内定者)
17	アーティスト志望：オーディション対策(企業リサーチ、自己PR、具体的な内容を踏まえ個別指導) 就職志望：未内定者個別面談・フィードバック/ビジネスマナー(内定者)
18	アーティスト志望：オーディション対策(企業リサーチ、自己PR、具体的な内容を踏まえ個別指導) 就職志望：未内定者個別面談・フィードバック/ビジネスマナー・生活設計シート作成(内定者)
19	アーティスト志望：オーディション対策(企業リサーチ、自己PR、具体的な内容を踏まえ個別指導) 就職志望：未内定者個別面談・フィードバック/ビジネスマナー・生活設計シート作成(内定者)

教科書等	なし 授業形態／対面授業と遠隔授業の併用実施
成績評価	テスト成果70%、取り組み姿勢30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	なし

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	著作権		実務授業の有無	×
担当講師	梅川 洸平		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	25 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	音楽・エンタテインメント業界で活躍するための著作権の知識の吸収と、著作権検定BASICの合格を目指す。 自作PPとテキストを使用することで理解度アップを目指す。且つ模擬問題の解説でより深く知識の吸収を目指す。最終時間は業界から特別講師招いて、身近な生活と著作権の権利の関係を知ってもらう。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機付け、DVD視聴&解説
2	X章・I章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
3	II章・III章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
4	IV章・V章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
5	VI章・VII章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
6	VIII章・IX章 対策授業 PPを使用して重要点の理解度向上
7	模擬問題①②の実施及び解説
8	模擬問題③④の実施及び解説
9	模擬問題⑤の実施及び解説、特別講師による講義・レポート提出

教科書等	テキスト及びDVD(著作権情報センター借用) 授業形態/対面授業のみ実施
成績評価	模擬問題35%、検定結果35%、出席率20%、授業態度10% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	PC実習		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	54 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>社会で使用且つ必要されているWord、Excelソフトを使いこなせる能力をテキストや問題集をこなすことで慣れさせ、技術を身に付ける。その確認としてそれぞれ検定の3級合格を目指す。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	Word対策動機付け テキストを使用して重点項目を実施
2	テキストを使用して重点項目を実施 練習問題①②
3	模擬試験①～③
4	模擬試験④～⑥
5	模擬試験⑦、サンプル問題
6	Excel対策動機付け テキストを使用して重点項目を実施
7	テキストを使用して重点項目を実施 練習問題①②
8	模擬試験①～③
9	模擬試験④～⑥
10	模擬試験⑦、サンプル問題

教科書等	<p>テキスト・問題集 (Word・Excel共に) 自作のプリント 授業形態／対面授業のみ実施</p>
成績評価	<p>検定結果70%、授業態度10%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。</p>
実務経験教員の 経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	選択授業		実務授業の有無	×
担当講師	永島麻耶(コーディネーター)		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	34 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>本校では自身の専攻学科以外の科目を学べるよう「選択授業」を設定している。 科目数は毎年約30科目ほどである。 各学科の専攻の授業を中心に授業展開がなされ、学生が他専攻の授業を学ぶことによって、幅広い知識・技術を身につけ、自身の将来に生かしていくことを目的とする。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	前期イントロダクション 各授業開始※各科目によって異なる
2	各科目による
3	各科目による
4	各科目による
5	各科目による
6	各科目による
7	各科目による
8	各科目による
9	前期評価 各科目による
10	後期イントロダクション 各授業開始※各科目によって異なる
11	各科目による
12	各科目による
13	各科目による
14	各科目による
15	各科目による
16	各科目による
17	各科目による
18	各科目による
19	後期評価 各科目による

教科書等	※各科目による 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	※各科目によって異なる 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	異文化研究		実務授業の有無	×
担当講師	早福 俊明		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	20 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	音楽やエンタメを仕事にしていくにあたり、広い視野を持つことが非常に重要である。海外の異文化研究を行い、海外の文化等を学ぶことで、自身の視野を広げ、プロデビュー・プロ活動・専門職就職に活かしていく。またパワーポイントでプレゼンを行うことで発表力・企画力を身に付ける。
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション チーム分け 研究国決定
2	研究① PP作成
3	研究② PP作成
4	研究③ PP作成
5	各チーム研究成果発表・自己評価・他己評価

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	成果発表内容60%、取り組み姿勢20%、出席率20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習A		実務授業の有無	○
担当講師	永島麻耶(コーディネーター)		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	151 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>前期に学んだ集大成として、野外フェスを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
15	本番日①(リハーサル・ゲネプロ・本番)
16	本番日②(リハーサル・ゲネプロ・本番)
17	フィードバック・反省会

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「合同会社UNITY」等

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習B		実務授業の有無	○
担当講師	永島麻耶(コーディネーター)		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	298 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	後期に学んだ集大成として、ホールコンサートを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル①)
15	各専攻ステージ制作
16	各専攻ステージ制作
17	各専攻ステージ制作
18	各専攻ステージ制作
19	各専攻ステージ制作
20	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル②)
21	各専攻ステージ制作
22	各専攻ステージ制作
23	各専攻ステージ制作
24	各専攻ステージ制作
25	各専攻ステージ制作
26	各専攻ステージ制作
27	各専攻ステージ制作
28	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル①)
29	各専攻ステージ制作
30	各専攻ステージ制作
31	各専攻ステージ制作
32	各専攻ステージ制作
33	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル②)
34	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル③)
35	各専攻ステージ制作
36	各専攻ステージ制作
37	各専攻ステージ制作
38	各専攻ステージ制作
39	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
40	各専攻ステージ制作(リハーサル・ゲネプロ)
41	各専攻ステージ制作(本番)
42	フィードバック・反省会

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「合同会社UNITY」等

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習A		実務授業の有無	○
担当講師	永島麻耶(コーディネーター)		講義実施時期	前期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	153 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	<p>前期に学んだ集大成として、野外フェスを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
15	本番日①(リハーサル・ゲネプロ・本番)
16	本番日②(リハーサル・ゲネプロ・本番)
17	フィードバック・反省会

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の 経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「合同会社UNITY」等

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	イベント制作実習B		実務授業の有無	○
担当講師	永島麻耶(コーディネーター)		講義実施時期	後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	300 時間
対象学科	全学科		対象コース	全コース

授業概要	後期に学んだ集大成として、ホールコンサートを企画・制作・運営する。 アーティスト系学科は演者として、スタッフ系学科を演者を支えるスタッフとしてそれぞれの学科の専攻ごとに制作を行う。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション 各専攻ステージ制作
2	各専攻ステージ制作
3	各専攻ステージ制作
4	各専攻ステージ制作
5	各専攻ステージ制作
6	各専攻ステージ制作
7	各専攻ステージ制作
8	各専攻ステージ制作
9	各専攻ステージ制作
10	各専攻ステージ制作
11	各専攻ステージ制作
12	各専攻ステージ制作
13	各専攻ステージ制作
14	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル①)
15	各専攻ステージ制作
16	各専攻ステージ制作
17	各専攻ステージ制作
18	各専攻ステージ制作
19	各専攻ステージ制作
20	各専攻ステージ制作(仮会場リハーサル②)
21	各専攻ステージ制作
22	各専攻ステージ制作
23	各専攻ステージ制作
24	各専攻ステージ制作
25	各専攻ステージ制作
26	各専攻ステージ制作
27	各専攻ステージ制作
28	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル①)
29	各専攻ステージ制作
30	各専攻ステージ制作
31	各専攻ステージ制作
32	各専攻ステージ制作
33	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル②)
34	各専攻ステージ制作(新潟市民プラザリハーサル③)
35	各専攻ステージ制作
36	各専攻ステージ制作
37	各専攻ステージ制作
38	各専攻ステージ制作
39	各専攻ステージ制作(会場仕込み・サウンドチェック・場当たり 等)
40	各専攻ステージ制作(リハーサル・ゲネプロ)
41	各専攻ステージ制作(本番)
42	フィードバック・反省会

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	作品成果60%、制作への貢献度20%、取り組み姿勢20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	各企業・団体と連携した運営体制となっている。 音響・照明系企業「サウンドエイト」「新潟照明技研」 映像系企業「MAD PRODUCTION」 ダンス系団体「合同会社UNITY」等

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	DTM		実務授業の有無	○
担当講師	山崎 亮		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	38
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	ベースコース
時間				

授業概要	<p>譜面(マスターズム/リードシート)を用いた演奏のアプローチ、バンド演奏時に必要な知識・技術を習得する。 楽曲中での演奏パートの役割を理解し、パートアレンジのアプローチを学ぶ。 オリジナル曲でのバンドアレンジの進め方を習得する。</p>
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	動機づけ 授業の趣旨 バンドアンサンブルについての必要な知識 スタジオリハーサルの進め方
2	課題曲① 譜面の読み方 パート確認
3	課題曲① アンサンブルの音作り リハーサルマークを用いた演奏
4	課題曲① ダイナミクスやキメを意識した演奏
5	課題曲① まとめ 簡易レコーディング
6	課題曲② シーケンスを使った演奏 パート確認
7	課題曲② シーケンスを使った演奏 バンド演奏
8	課題曲② シーケンスを使った演奏 バンド演奏 簡易レコーディング
9	課題曲③ セッション系楽曲の演奏方法
10	課題曲③ セッション系楽曲 簡易レコーディング 前期まとめ
11	課題曲④(アップテンポ) オリジナルアレンジのアプローチ パート確認
12	課題曲④(アップテンポ) オリジナルアレンジのバンド演奏
13	課題曲④(アップテンポ) オリジナルアレンジのバンド演奏 簡易レコーディング
14	課題曲⑤(ミドルテンポ) オリジナルアレンジのアプローチ パート確認
15	課題曲⑤(ミドルテンポ) オリジナルアレンジのバンド演奏
16	課題曲⑤(ミドルテンポ) オリジナルアレンジのバンド演奏 簡易レコーディング
17	課題曲⑥(スローテンポ) オリジナルアレンジのアプローチ パート確認
18	課題曲⑥(スローテンポ) オリジナルアレンジのバンド演奏
19	課題曲⑥(スローテンポ) オリジナルアレンジのバンド演奏 簡易レコーディング 後期まとめ

教科書等	なし 授業形態/対面授業のみ実施
成績評価	課題曲のレコーディング音源50%、授業態度および学習意欲50% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	東京・新潟を拠点に作曲・編曲家として活動中。 ギター・ベースのレコーディング、ドラムス・シンセ等のプログラミングを担当。

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校 授業シラバス

科目名	ベース実践		実務授業の有無	○
担当講師	若井 奏一朗		講義実施時期	前期・後期
対象学年	1	年	必修・選択	必修
対象学科	音楽アーティスト科		総授業時間	38 時間
			対象コース	ベースコース

授業概要	音楽の根底となるリズムを作るベースとドラム。 リズムアンサンブルを通して、クリックの重要性、リズムの強化、お互いの合わせ方を学ぶ。 また、セッションを通してアレンジ力を身に付ける事を目的とする。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	ブルースコードセッション12小節
2	4ビートでのアンサンブル①テンポ、リズム、アレンジを変えてアンサンブル。
3	4ビートでのアンサンブル②アレンジを加えて完成。クラス内発表。
4	小節を見失わないリズムアンサンブル①
5	小節を見失わないリズムアンサンブル②
6	レベルアップ:小節を見失わないリズムアンサンブル曲①マイナーブルース
7	レベルアップ:小節を見失わないリズムアンサンブル曲②シャッフル
8	レベルアップ:小節を見失わないリズムアンサンブル曲③コードトーン、スケール
9	まとめ シャッフルブルースセッション
10	【16ビートセッション①】ウラ拍を強調したセッション
11	【16ビートセッション②】ウラ拍でうねるような8ビート
12	【16ビートセッション③】アシッドジャズ
13	【ファンク】ハーフタイムシャッフル
14	【サンバ】ブラジル音楽のベースライン①
15	【バイヨン】ブラジル音楽のベースライン②
16	【ラテン】アフロ・キューバン音楽のベースライン①
17	【ラテン】アフロ・キューバン音楽のベースライン②
18	【グループワーク】セッショングループ3チーム作成し、オリジナルアンサンブル作成
19	【発表】まとめ発表

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	課題披露60%、授業態度および学習意欲40% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	アーティストのサポートミュージシャンとしての活動の傍ら、アーティストの楽曲レコーディングにも参加。 一般財団ヤマハ音楽振興会認定ドベース科講師。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ベーストレーニングⅠ		実務授業の有無	○
担当講師	若井 奏一朗		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	38 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	ベースコース

授業概要	音楽の根底となるリズムを作るベースとドラム。リズムアンサンブルを通して、クリックの重要性、リズムの強化、お互いの合わせ方を学ぶ。また、セッションを通してアレンジ力を身に付ける事を目的とする。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	ブルースコードセッション12小節
2	8ビートでのアンサンブル① テンポ、リズム、アレンジを変えてアンサンブル。
3	8ビートでのアンサンブル② アレンジを加えて完成。クラス内発表。
4	小節を見失わないリズムアンサンブル①
5	小節を見失わないリズムアンサンブル②
6	レベルアップ：小節を見失わないリズムアンサンブル曲① マイナーブルース
7	レベルアップ：小節を見失わないリズムアンサンブル曲② シャッフル
8	レベルアップ：小節を見失わないリズムアンサンブル曲③ コードトーン自由
9	まとめ シャッフルブルースセッション
10	【16ビートセッション①】 ウラ拍を強調したセッション
11	【16ビートセッション②】 ウラ拍でうねるような8ビート
12	【16ビートセッション③】 アシッドジャズ
13	【ファンク】 ハーフタイムシャッフル
14	【サンバ】 ブラジル音楽のベースライン①
15	【バイヨン】 ブラジル音楽のベースライン②
16	【ラテン】 アフロ・キューバン音楽のベースライン①
17	【ラテン】 アフロ・キューバン音楽のベースライン②
18	【グループワーク】 セッショングループ3チーム作成し、オリジナルアンサンブル作成
19	【発表】 まとめ発表

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	課題披露60%、授業態度および学習意欲40% 成績評価は(S(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可))の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	アーティストのサポートミュージシャンとしての活動の傍ら、アーティストの楽曲レコーディングにも参加。 一般財団ヤマハ音楽振興会認定ベース科講師。

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ベース専攻実技 I		実務授業の有無	○
担当講師	若井 奏一朗		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	38 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	ベースコース

授業概要	ベースの基礎的な演奏方法を学び、すべての奏法を網羅する。 様々なジャンルでの演奏方法を学ぶ。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション・それぞれのレベルをチェックし、個々の目標の設定。
2	コード譜に従ってのリズム・フレージングトレーニングの基礎。
3	コード譜に従ってのリズム・フレージングトレーニングの発展。
4	フレットポジションの確認・リズムの確認。
5	フレットポジションの確認・リズムの小テスト。
6	様々な運指トレーニングや、ピッキングトレーニングの基礎。
7	様々な運指トレーニングや、ピッキングトレーニングの発展。
8	3・5度・オクターブの使い方やフレージングの基礎。
9	3・5度・オクターブの使い方やフレージングの発展。期末確認テスト。
10	課題曲①の解説・実践。
11	課題曲①のチェック。改善案の提示。
12	ジャズ風のベースフレーズの基礎。
13	ジャズ風のベースフレーズの発展。
14	ファンク風のベースフレーズの基礎。
15	ファンク風のベースフレーズの発展。
16	ロック風(ストレートな8ビート・16ビート)のベースフレーズの基礎。
17	ロック風(ストレートな8ビート・16ビート)のベースフレーズの発展。
18	期末試験課題曲②の解説・実践。
19	期末試験課題曲②演奏試験。

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	期末テスト結果80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	アーティストのサポートミュージシャンとしての活動の傍ら、アーティストの楽曲レコーディングにも参加。 一般財団ヤマハ音楽振興会認定ベース科講師。

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ベース実技 I		実務授業の有無	○
担当講師	若井 奏一朗		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	ベースコース

授業概要	基礎から発展したフレーズを学ぶ。音楽理論を踏まえたフレーズや、ベースラインの構築などを学ぶ。また、リズム楽器としての役割を考えフレーズづくるができる様になる。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション・それぞれのレベルをチェックし、個々の目標の設定。フレットポジションについて。リズムの読み方。
2	コード理論・フレットポジションについて。リズムの読み方
3	コード譜に沿ったリズムトレーニング①
4	コード譜に沿ったリズムトレーニング②
5	運指トレーニングの強化・ピッキングについての考察。
6	ハンマリング・プリング・フィンガー/ピックピッキングの考察。
7	3・5・7度を使用した基礎フレーズ。
8	3・5・7度を使用した発展フレーズ。課題曲①の解説・実践
9	期末テスト(課題曲①)
10	メジャースケールを使用した技術トレーニング。
11	ナチュラルマイナースケールを使用した技術トレーニング。
12	コードトーンを使用したフレーズ作り。
13	課題曲②の解説・実践
14	課題曲②の中間確認テスト
15	スラップの基本フレーズ
16	スラップの発展フレーズ(期末小テスト)
17	期末テスト

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	期末テスト結果80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	アーティストのサポートミュージシャンとしての活動の傍ら、アーティストの楽曲レコーディングにも参加。 一般財団ヤマハ音楽振興会認定ベース科講師。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	アンサンブルトレーニング I		実務授業の有無	○
担当講師	梅川 洸平		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	ベースコース

授業概要	実践でのトレーニング。専攻授業の実践や応用、読譜力、専攻楽器以外の知識習得し、バンド演奏に必要な音楽的知識を総合的に学ぶ内容
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	課題曲アンサンブル。8ビート メジャー/マイナーキー、ミドル/アップテンポ曲の演奏
2	課題曲アンサンブル。8ビート メジャー/マイナーキー、ミドル/アップテンポ曲の演奏
3	課題曲アンサンブル。8ビート メジャー/マイナーキー、ミドル/アップテンポ曲の演奏
4	課題曲アンサンブル。8ビート メジャー/マイナーキー、ミドル/アップテンポ曲の演奏
5	課題曲アンサンブル。8ビート メジャー/マイナーキー、ミドル/アップテンポ曲の演奏
6	課題曲アンサンブル。シャッフルビート メジャー/マイナーキー、ミドル/アップテンポ曲の演奏
7	課題曲アンサンブル。シャッフルビート メジャー/マイナーキー、ミドル/アップテンポ曲の演奏
8	課題曲アンサンブル。シャッフルビート メジャー/マイナーキー、ミドル/アップテンポ曲の演奏
9	前期試験。これまでの課題曲から選曲、演奏
10	後期開始 課題曲アンサンブル。シャッフルビート メジャー/マイナーキー、ミドル/アップテンポ曲の演奏
11	課題曲アンサンブル。シャッフルビート メジャー/マイナーキー、ミドル/アップテンポ曲の演奏
12	課題曲アンサンブル。16ビート メジャー/マイナーキー曲の演奏
13	課題曲アンサンブル。17ビート メジャー/マイナーキー曲の演奏
14	課題曲アンサンブル。18ビート メジャー/マイナーキー曲の演奏
15	課題曲アンサンブル。19ビート メジャー/マイナーキー曲の演奏
16	課題曲アンサンブル。ハーフシャッフルビート曲の演奏
17	後期試験。これまでの課題曲から選曲、演奏

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ギターインストラクター歴 12年 レコーディング・イベント等での演奏や、ホテル・飲食店等での演奏も行う。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテイメント専門学校 授業シラバス

科目名	アンサンブル実習		実務授業の有無	○
担当講師	梅川 洸平		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	1・2	年	総授業時間	30 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	ベースコース

授業概要	アンサンブルを通じて、バンドでのリズム・メロディ・ハーモニーのアレンジを総合的に学ぶ。課題曲を演奏したり、課題曲をアレンジしたりして楽曲への理解を深め、アレンジも行えるように指導を行う。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション。マスタリズム・楽譜とは何か。課題曲①(ワンコーラス)
2	課題曲①
3	課題曲②
4	課題曲②
5	課題曲③
6	課題曲③
7	前期末課題曲④
8	前期末課題曲④
9	前期末課題曲テスト
10	課題曲⑤
11	課題曲⑤
12	課題曲⑥
13	課題曲⑥
14	課題曲⑦
15	課題曲⑦後期末課題曲テスト
16	
17	
18	
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	テスト成果70%、取り組み姿勢30% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ギターインストラクター歴 12年 レコーディング・イベント等での演奏や、ホテル・飲食店等での演奏も行う。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ベース実践Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	若井 奏一朗		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	ベースコース

授業概要	ベースの基礎的な演奏方法を学び、すべての奏法を網羅する。 様々なジャンルでの演奏方法を学ぶ。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション・それぞれのレベルをチェックし、個々の目標の設定。
2	コード譜に従ってのリズム・フレージングトレーニングの基礎。
3	コード譜に従ってのリズム・フレージングトレーニングの発展。
4	フレットポジションの確認・リズムの確認。
5	フレットポジションの確認・リズムの小テスト。
6	様々な運指トレーニングや、ピッキングトレーニングの基礎。
7	様々な運指トレーニングや、ピッキングトレーニングの発展。
8	3・5度・オクターブの使い方やフレージングの基礎。
9	3・5度・オクターブの使い方やフレージングの発展。期末確認テスト。
10	課題曲①の解説・実践。
11	課題曲①のチェック。改善案の提示。
12	ジャズ風のベースフレーズの基礎。
13	ジャズ風のベースフレーズの発展。
14	ファンク風のベースフレーズの基礎。
15	ファンク風のベースフレーズの発展。
16	ロック風(ストレートな8ビート・16ビート)のベースフレーズの基礎。
17	ロック風(ストレートな8ビート・16ビート)のベースフレーズの発展。
18	期末試験課題曲②の解説・実践。
19	期末試験課題曲②演奏試験。

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	期末テスト結果80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	アーティストのサポートミュージシャンとしての活動の傍ら、アーティストの楽曲レコーディングにも参加。 一般財団ヤマハ音楽振興会認定ベース科講師。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ベーストレーニングⅡ		実務授業の有無	○
担当講師	若井 奏一郎		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	ベースコース

授業概要	音楽の根底となるリズムを作るベースとドラム。リズムアンサンブルを通して、クリックの重要性、リズムの強化、お互いの合わせ方を学ぶ。また、セッションを通してアレンジ力を身に付ける事を目的とする。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	ブルースコードセッション12小節
2	8ビートでのアンサンブル① テンポ、リズム、アレンジを変えてアンサンブル。
3	8ビートでのアンサンブル② アレンジを加えて完成。クラス内発表。
4	小節を見失わないリズムアンサンブル①
5	小節を見失わないリズムアンサンブル②
6	レベルアップ：小節を見失わないリズムアンサンブル曲① マイナーブルース
7	レベルアップ：小節を見失わないリズムアンサンブル曲② シャッフル
8	レベルアップ：小節を見失わないリズムアンサンブル曲③ コードトーン自由
9	まとめ シャッフルブルースセッション
10	【16ビートセッション①】 ウラ拍を強調したセッション
11	【16ビートセッション②】 ウラ拍でうねるような8ビート
12	【16ビートセッション③】 アシッドジャズ
13	【ファンク】 ハーフタイムシャッフル
14	【サンバ】 ブラジル音楽のベースライン①
15	【バイヨン】 ブラジル音楽のベースライン②
16	【ラテン】 アフロ・キューバン音楽のベースライン①
17	【ラテン】 アフロ・キューバン音楽のベースライン②
18	【グループワーク】 セッショングループ3チーム作成し、オリジナルアンサンブル作成
19	【発表】 まとめ発表

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	課題披露60%、授業態度および学習意欲40% 成績評価は(S(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可))の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	アーティストのサポートミュージシャンとしての活動の傍ら、アーティストの楽曲レコーディングにも参加。 一般財団ヤマハ音楽振興会認定ベース科講師。

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ベース専攻実技Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	若井 奏一朗		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	38 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	ベースコース

授業概要	ベースの基礎的な演奏方法を学び、すべての奏法を網羅する。 様々なジャンルでの演奏方法を学ぶ。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション・それぞれのレベルをチェックし、個々の目標の設定。
2	コード譜に従ってのリズム・フレージングトレーニングの基礎。
3	コード譜に従ってのリズム・フレージングトレーニングの発展。
4	フレットポジションの確認・リズムの確認。
5	フレットポジションの確認・リズムの小テスト。
6	様々な運指トレーニングや、ピッキングトレーニングの基礎。
7	様々な運指トレーニングや、ピッキングトレーニングの発展。
8	3・5度・オクターブの使い方やフレージングの基礎。
9	3・5度・オクターブの使い方やフレージングの発展。期末確認テスト。
10	課題曲①の解説・実践。
11	課題曲①のチェック。改善案の提示。
12	ジャズ風のベースフレーズの基礎。
13	ジャズ風のベースフレーズの発展。
14	ファンク風のベースフレーズの基礎。
15	ファンク風のベースフレーズの発展。
16	ロック風(ストレートな8ビート・16ビート)のベースフレーズの基礎。
17	ロック風(ストレートな8ビート・16ビート)のベースフレーズの発展。
18	期末試験課題曲②の解説・実践。
19	期末試験課題曲②演奏試験。

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	期末テスト結果80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	アーティストのサポートミュージシャンとしての活動の傍ら、アーティストの楽曲レコーディングにも参加。 一般財団ヤマハ音楽振興会認定ベース科講師。

SHOW ! 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	ベース実技Ⅱ		実務授業の有無	○
担当講師	若井 奏一朗		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	ベースコース

授業概要	基礎から発展したフレーズを学ぶ。音楽理論を踏まえたフレーズや、ベースラインの構築などを学ぶ。また、リズム楽器としての役割を考えフレーズづくるができる様になる。
------	---

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	イントロダクション・それぞれのレベルをチェックし、個々の目標の設定。フレットポジションについて。リズムの読み方。
2	コード理論・フレットポジションについて。リズムの読み方
3	コード譜に沿ったリズムトレーニング①
4	コード譜に沿ったリズムトレーニング②
5	運指トレーニングの強化・ピッキングについての考察。
6	ハンマリング・プリング・フィンガー/ピックピッキングの考察。
7	3・5・7度を使用した基礎フレーズ。
8	3・5・7度を使用した発展フレーズ。課題曲①の解説・実践
9	期末テスト(課題曲①)
10	メジャースケールを使用した技術トレーニング。
11	ナチュラルマイナースケールを使用した技術トレーニング。
12	コードトーンを使用したフレーズ作り。
13	課題曲②の解説・実践
14	課題曲②の中間確認テスト
15	スラップの基本フレーズ
16	スラップの発展フレーズ(期末小テスト)
17	期末テスト
18	
19	

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	期末テスト結果80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	アーティストのサポートミュージシャンとしての活動の傍ら、アーティストの楽曲レコーディングにも参加。 一般財団ヤマハ音楽振興会認定ベース科講師。

SHOW！国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 授業シラバス

科目名	アンサンブルトレーニング I		実務授業の有無	○
担当講師	梅川 洸平		講義実施時期	前期・後期
			必修・選択	必修
対象学年	2	年	総授業時間	34 時間
対象学科	音楽アーティスト科		対象コース	ベースコース

授業概要	実践でのトレーニング。専攻授業の実践や応用、読譜力、専攻楽器以外の知識習得し、バンド演奏に必要な音楽的知識を総合的に学ぶ内容
------	--

授業計画	
回数	授業テーマ・授業内容・特記事項など
1	課題曲アンサンブル。8ビート メジャー/マイナーキー、ミドル/アップテンポ曲の演奏
2	課題曲アンサンブル。8ビート メジャー/マイナーキー、ミドル/アップテンポ曲の演奏
3	課題曲アンサンブル。8ビート メジャー/マイナーキー、ミドル/アップテンポ曲の演奏
4	課題曲アンサンブル。8ビート メジャー/マイナーキー、ミドル/アップテンポ曲の演奏
5	課題曲アンサンブル。8ビート メジャー/マイナーキー、ミドル/アップテンポ曲の演奏
6	課題曲アンサンブル。シャッフルビート メジャー/マイナーキー、ミドル/アップテンポ曲の演奏
7	課題曲アンサンブル。シャッフルビート メジャー/マイナーキー、ミドル/アップテンポ曲の演奏
8	課題曲アンサンブル。シャッフルビート メジャー/マイナーキー、ミドル/アップテンポ曲の演奏
9	前期試験。これまでの課題曲から選曲、演奏
10	後期開始 課題曲アンサンブル。シャッフルビート メジャー/マイナーキー、ミドル/アップテンポ曲の演奏
11	課題曲アンサンブル。シャッフルビート メジャー/マイナーキー、ミドル/アップテンポ曲の演奏
12	課題曲アンサンブル。16ビート メジャー/マイナーキー曲の演奏
13	課題曲アンサンブル。17ビート メジャー/マイナーキー曲の演奏
14	課題曲アンサンブル。18ビート メジャー/マイナーキー曲の演奏
15	課題曲アンサンブル。19ビート メジャー/マイナーキー曲の演奏
16	課題曲アンサンブル。ハーフシャッフルビート曲の演奏
17	後期試験。これまでの課題曲から選曲、演奏

教科書等	なし 授業形態／対面授業のみ実施
成績評価	課題レポート提出80%、授業態度および学習意欲20% 成績評価はS(秀)、A(優)、B(良)、C(可)、D(可)、E(不可)の6段階で評価する。
実務経験教員の経歴	ギターインストラクター歴 12年 レコーディング・イベント等での演奏や、ホテル・飲食店等での演奏も行う。